

# 照陽の家だより

令和元年 5月15日

〒683-0812

米子市角盤町3-124-3

TEL 0859-21-8151

「令和元年」穏やかに新しい時代が開けました。四月末から連休も始まり報道番組や新聞等と共に「平成」という時代をゆっくり振り返る機会ともなりました。幾たびも大規模災害に見舞われる中、その都度、心ひとつに「復興」を目指してきた人々の姿に勇気を頂き胸が熱くなりました。平成24年、被災者へのお見舞いのため東日本各地を訪問された際に皇后様が読まれた御歌「今ひとたび 立ち上がり ゆく 村むらよ 失せたるものの面影の上に」は今も思い出されます。災害を目にする度に以前から提唱されていた地域作りも他人事ではなく直近の課題として私たちに突き付けられ、高齢化の波は待ったなしで住民互助の仕組み作りを求めています。万葉集は「令(うるわ)しく平和に生きる日本人の原点」とある研究者は語るそうですが、照陽の家に集う高齢者の方々の日々のお話の中にその答えはあり温故知新の大切さを思います。今こそ大らかに緩やかに温かく人を受け入れる心の育成こそが令和の時代をより良く生きる答えであるとも思います。さて、青葉が茂るこの5月、強い風が木々の葉を大きく揺さぶり葉ずれの音がうねりながら大空を駆け巡っています。この風を「青嵐(あおあらし)」というのだそうですが令和の青嵐が後に続く子供たちのために私たちの命を燃え上がらせる追い風になれば、と改めて祈るこの頃です。

施設長 三代富士子

## 照陽の家の日常



転倒予防訓練



回想法

作業療法士による転倒防止のための訓練や見慣れた景色の中を散歩することで認知症の回想法に取り組んでいます。子供たちと一緒に体操をし長寿の心得を毎日朗読しています。施設の飾りつけを利用者様と一緒に考え利用者様からいろいろなアイデアを頂き充実した時間を過ごしています。



飾りつけ作品作り



長寿の心得朗読



照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し、看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

## 作業療法士のリハビリメモ

作業療法士 岡野元明

4月19日、20日にインデックス大阪で開催の「バリアフリー展2019」に参加してきました。ここでは車いすなどの医療福祉機器の展示やリハビリ、看護、介護のシンポジウムがあり様々な職種の方が学びに来られていました。また実際に障害を持った方なども多く参加されており自分たちの福祉用具を買い物感覚で購入されていたのが印象的でした。展示では介護付きロボットをはじめ簡単に移乗が出来る機器や車いすに乗ったまま階段を昇降できる機器など多種多様なものがありました。実際に地域で生活されている方はそういった機器を目に触れることは少ないため医療従事者や支援者の福祉機器選択の大切さを感じました。当事者の方がどんな生活を望んでおられるか、できることとできないことはあるか、やってみたいことや夢など日頃の関わりから情報を吸い上げ必要な福祉機器を選択する必要があると感じました。

## 今月の言葉

生きていく上で 人の嫌がることは しない  
人が喜ぶことを する それだけ!

～葉 祥明～

## ひなたぼっこ保育園の日常



おじいちゃん、おばあちゃんと触れ合い

体操

作品作り

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

